

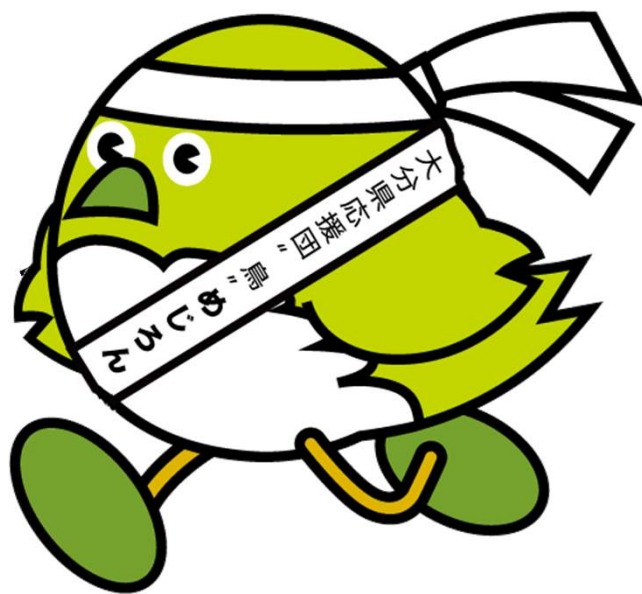
大分県

OITA Prefecture

2024

目次

- 1 大分県のすがた
- 2 大分県の経済・産業
- 3 大分県庁の組織と業務
- 4 安心・元気・未来創造ビジョン2024
- 5 大分県行財政改革推進計画2024
- 7 令和6年度の主な取組
- 8 大分県管内図、県のシンボル



日本一の

おんせん県おおいた



みりよく

味力も満載

(1) 大分県の位置

大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に、東側は伊予灘、豊後水道に面しています。



(2) 大分県の市町村

大分県は18市町村(14市3町1村)から構成されています(平成の大合併前は58市町村(11市36町11村)でした。)

総人口は約109万人(R6.3.1現在)であり、人口が最も多い市町村は県庁所在地である大分市です。総面積は約6,341km²であり、面積が最も広い市町村は佐伯市です(九州一)。

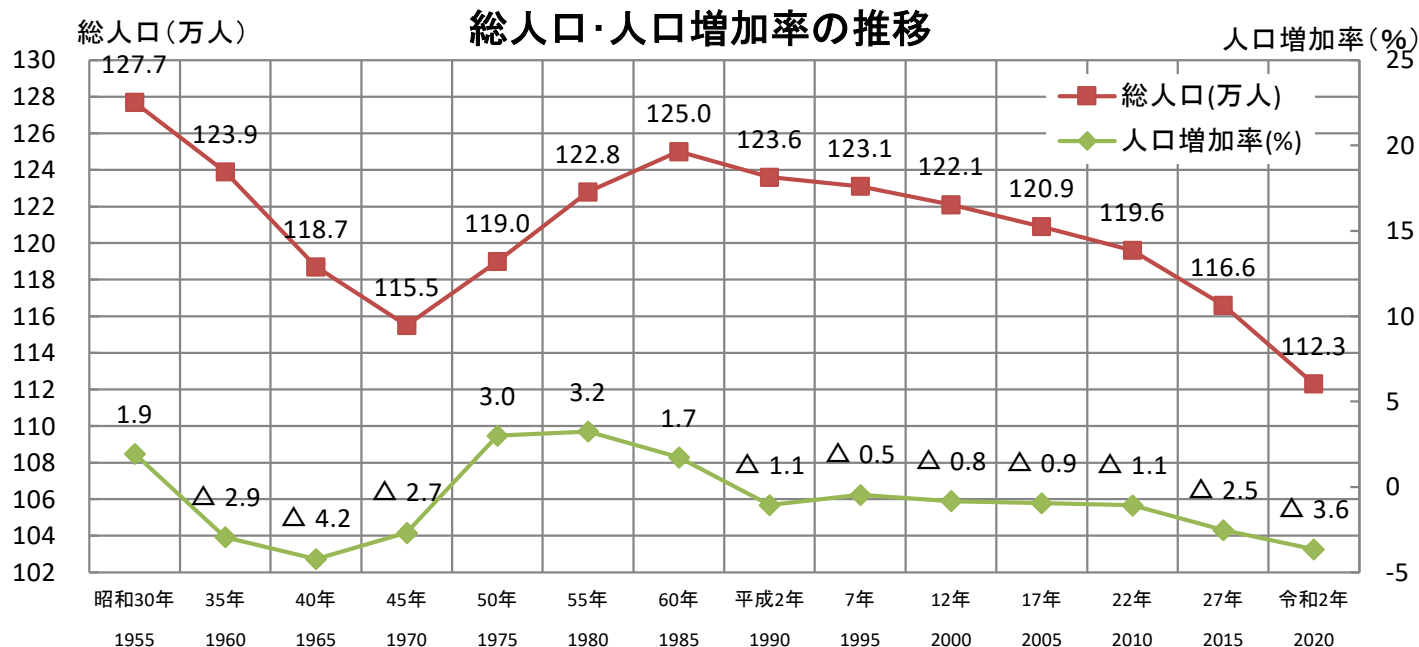
区 分	面積 R5.10.1 (km ²)	世帯数 R6.3.1 (世帯)	人口 R6.3.1 (人)		
			総数	男	女
大分県	6,340.70 * A	495,119	1,090,789	519,256	571,533
大分市	502.39	215,441	471,676	226,787	244,889
別府市	125.34 * a	54,917	112,459	51,084	61,375
中津市	491.44 * b	38,481	81,265	39,894	41,371
日田市	666.03	25,262	59,446	28,290	31,156
佐伯市	903.14	28,193	62,497	28,960	33,537
臼杵市	291.20	14,487	33,918	15,930	17,988
津久見市	79.48	6,563	14,558	6,853	7,705
竹田市	477.53 * c	8,320	18,564	8,711	9,853
豊後高田市	206.24	9,737	21,537	10,325	11,212
杵築市	280.08	11,781	26,170	12,729	13,441
宇佐市	439.05	22,034	50,281	23,893	26,388
豊後大野市	603.14	13,430	31,478	14,731	16,747
由布市	319.32 * a	13,467	32,228	15,272	16,956
国東市	318.10	11,847	24,596	11,817	12,779
姫島村	6.99	804	1,538	719	819
日出町	73.26	11,376	27,340	13,075	14,265
九重町	271.37 * c	3,298	7,884	3,756	4,128
玖珠町	286.60	5,681	13,354	6,430	6,924

* A 大分県及び福岡県、熊本県は境界の一部が未定のため、参考値である。
 * a 別府市及び由布市は、境界の一部が未定のため、参考値である。
 * b 中津市及び福岡県田川郡添田町は、境界の一部が未定のため、中津市は参考値である。
 * c 竹田市、玖珠郡九重町及び熊本県阿蘇郡小国町は、境界の一部が未定のため、竹田市及び九重町は参考値である。
 ※人口及び世帯数は、大分県毎月流動人口調査による推計値である。

(3) 人口の推移

大分県の人口は、昭和30年の127万7千人をピークに減少を続け、昭和45年には115万5千人にまで落ち込みましたが、その後は増勢に転じ、昭和60年には125万人となりました。

しかしながら、昭和60年を境として、東京一極集中や過疎化の進行等により減少傾向が続いており、令和2年には112万3千人となり、昭和40年に次ぐ大きな減少率となりました。



資料:総務省「国勢調査」

(4) 人口の将来推計

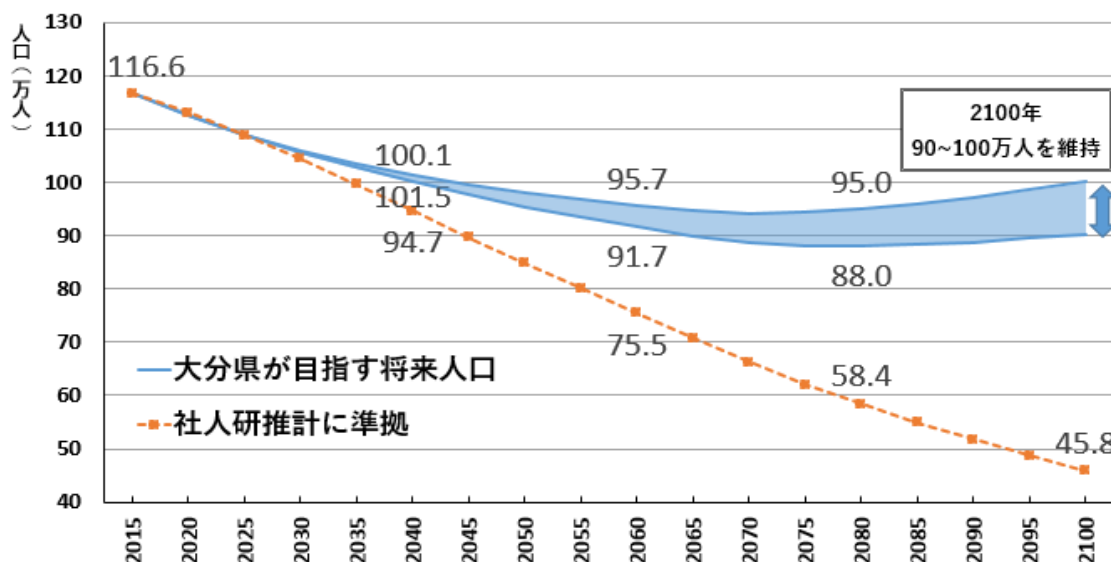
大分県の人口は、このまま何もしなければ、2100年には45.8万人と、人口減少がさらに進行するものと推計しています。

一方で、県民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現など自然増を図り、併せて若者の流入・定着など社会増を促進することで、2100年でも90万~100万人程度の人口を維持できると考えています。

この人口維持の実現に向けて、地方創生の取り組みを進めることにより、特に、重要な要素である「合計特殊出生率」「出生数」「人口の社会増減」について、以下の指標を達成することが重要です。

合計特殊出生率	出生数	人口の社会増減
2025年(R7年) 1.83	2025年(R7年) 9,000人程度	2025年(R7年) 均衡

総人口の将来推計



資料:大分県人口ビジョン(令和2年3月改訂)

(5)大分県の特徴

大分県は、温暖な気候に恵まれ、海や山などの豊かな自然、その中で育まれた新鮮で安全な食材、宇佐神宮や六郷満山、国宝臼杵石仏をはじめとした磨崖仏などの貴重な歴史的文化遺産など多くの地域資源があります。

また、なんとといっても県内全域に広がる温泉は、日本一の湧出量と源泉数を誇り、10種類ある泉質のうち8種類を有しています。

さらには、「The・おおいた」ブランドとして、関あじ・関さば、おおいた和牛などの高級食材をはじめ、かぼすやしいたけなど四季折々の素晴らしい食材も満載です。



別府湾地域
多彩な温泉と遊びの競演

日本一の温泉湧出量、源泉数を誇り、バラエティに富んだ温泉が満喫できる別府をはじめ、別府湾沿いに開けたエリア。海を望む水族館やテーマパークなどのレジャーも充実。



宇佐・国東地域
六郷満山と古の文化

かつて宇佐神宮を中心とした八幡文化で栄えた宇佐地域と、「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開いた国東半島を中心とするエリア。磨崖仏や石橋など石造物も豊富。



日田・耶馬地域
緑薫る歴史と景勝の地

江戸幕府の直轄地「天領」として栄え、今も当時の町並みと町人文化が残る日田、城下町の風情が息づく中津など、歴史の薫り漂うエリア。深耶馬溪一帯は奇岩奇峰と瀬流が織りなす景勝地。



やまなみ地域
雄大な山々の営み

1700m級の山峰が連なるくじゅう連山をはじめ、祖母・傾山系、由布岳など、雄大な山々に囲まれたエリア。四季折々に色合いを変える大自然の山歩きや高原散策、山間のいで湯を楽しめる癒やしのスポット。



奥豊後地域
名水の潤いと歴史の道

清流・大野川の中・上流域に開けたエリアで、豊かな自然が清らかな水を育む名水のふるさと。「九州の小京都」竹田は、岡城趾など、当時の隆盛がしのばれる城下町。



日豊海岸地域
リアス式海岸と海の幸

日豊海岸国定公園に指定された美しいリアス式海岸が続く、大分県南エリア。旧藩時代のたたずまいが残る臼杵や佐伯など、海辺の城下町は情緒たっぷり。関あじ・関さばをはじめ、豊後水道で揚がる海の幸が絶品。

(6)大分県の日本一

天然自然が豊かな大分県には様々な日本一があります。特に、七島イの生産は全国で100%のシェアを誇っています。



温泉源泉総数
5,090孔 (R4年度末)
温泉湧出量
295千kl/分 (R4年度末)



地熱発電設備容量
174千kW (R3年度)



市町村指定有形文化財
(建造物)
757件 (R5.5.1)



道路トンネル数
562本 (R3.3.31)



かぼす生産量
5,900t (R3年)



乾しいたけ生産量
769t (R4年)



七島イ生産量
10t (R4年)



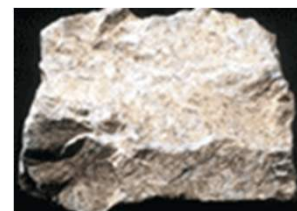
サフラン(花芯)生産量
12kg (R4年)



マダケ竹材生産量
21.9千束 (R4年)



ホオズキ出荷量
1,157千本
(R4年:切り花のみ)



石灰石生産量
25,351千t (R4年度)



ひらめ養殖収穫量
528t (R4)

(7)大分県の歴史

大分県は、古くは豊の国と呼ばれ、7世紀の終わり頃、豊前・豊後の二国に分けられました。

8世紀には宇佐八幡宮が全国4万社の八幡の総本宮として栄え、また、国東半島には「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が開花しました。

13世紀の初め(鎌倉時代)、豊後には大友氏が守護として入国し、以後約400年間統治が続きました。特に、大友宗麟の時代には、豊前を含め北部九州6か国を支配するまでとなりました。大友宗麟は、キリシタン大名としてキリスト教や西洋文化を積極的に取り入れました。府内(現在の大大分市)、臼杵には中国船やポルトガル船が入り、「南蛮貿易」が盛んに行われ、国際都市として繁栄しました。

16世紀末、豊臣秀吉によって大友氏が除国されると、領国は極端に細分化されました。その後約300年間、小藩分立の時代が続き、県内各所に城下町文化が開花したことにより、自主自立の気風を育み、個性豊かな人材を生み出しています。

明治になると、大幅な府県改廃が進められ、豊後国は大分県に、豊前国は小倉県になりました。

その後、県の統廃合が行われ、下毛・宇佐両郡が大分県に編入され、今日の大分県域となりました。

3世紀	宇佐邪馬台国説
720ごろ	「豊後国風土記」成る
731	宇佐八幡宮、官弊社となる 六郷満山文化、国東半島を中心に展開
1551	フランシスコ・ザビエル来訪
1871	廃藩置県により大分県誕生
1876	下毛、宇佐郡を大分県に編入し、現大分県域が確定
1962	県庁舎が現在の場所に建設される
2006	平成の大合併により18市町村となる

(8)大分県の偉人

(近世…安土桃山、江戸時代)

**大友 宗麟**

(戦国武将:1530~1587)

キリスト教を保護・推奨、西洋文化をいち早く取り入れ、ポルトガルと親交を結んだキリシタン大名

**黒田 官兵衛**

(戦国武将:1546~1604)

豊臣秀吉の側近として活躍し、天下統一を支えた天才軍師

**前野 良沢**

(中津藩医:1723~1803)

解剖書「ターヘル・アナトミア」を杉田玄白らと翻訳し、「解体新書」として出版

**田能村 竹田**

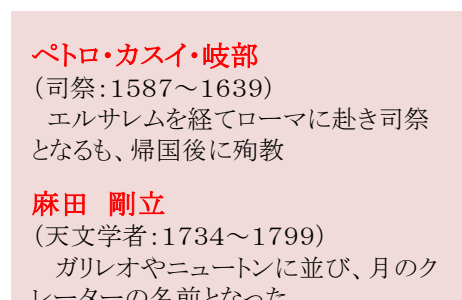
(南画家:1777~1835)

詩・書・画一体の独自の風雅の世界を確立し、代表作のいくつかは国の重要文化財に指定

**広瀬 淡窓**

(儒学者、教育者:1782~1856)

近世最大の私塾 咸宜園を創設し、門下三千有余の中から多方面に人材を輩出

**ペトロ・カスイ・岐部**

(司祭:1587~1639)

エルサレムを経てローマに赴き司祭となるも、帰国後に殉教

麻田 剛立

(天文学者:1734~1799)

ガリレオやニュートンに並び、月のクレーターの名前となった

大蔵 永常

(農学者:1768~1860)

九州各地をはじめ、大阪から東北にまで農業技術を学ぶ

(近代…明治以降)

**福沢 諭吉**

(啓蒙思想家:1835~1901)

慶應義塾の創設者であり、「学問のすゝめ」「西洋事情」などを執筆。一万円札の肖像としても有名

**滝 廉太郎**

(作曲家:1879~1903)

明治の中期、音楽界に彗星のように現れ、「荒城の月」「花」など不朽の名曲を残した。23歳で死去

**野上 弥生子**

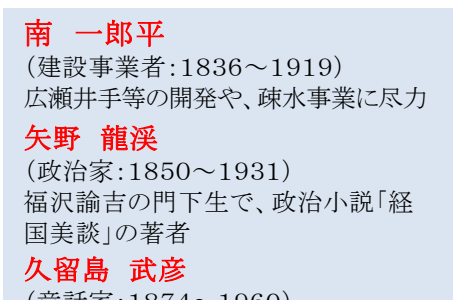
(小説家:1885~1985)

夏目漱石の指導を受けて小説を書き始め、「海神丸」「秀吉と利休」など多数の作品を発表

**双葉山 定次**

(大相撲力士:1912~1968)

前人未踏の69連勝を誇る第35代横綱。愛称は「不世出の横綱」「相撲の神様」「昭和の角聖」

**南 一郎平**

(建設事業者:1836~1919)

広瀬井手等の開発や、疎水事業に尽力

矢野 龍溪

(政治家:1850~1931)

福沢諭吉の門下生で、政治小説「経国美談」の著者

久留島 武彦

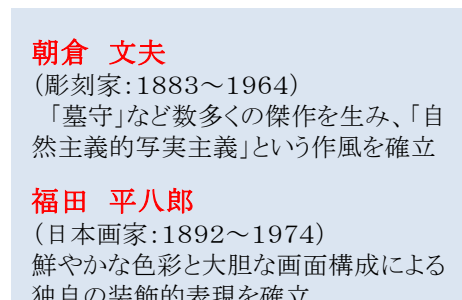
(童話家:1874~1960)

童話「夕やけ小やけ」を作詞した「日本のアンデルセン」

堀 悌吉

(軍人:1883~1959)

平和と軍縮を希求した知性派海軍中将

**朝倉 文夫**

(彫刻家:1883~1964)

「墓守」など数多くの傑作を生み、「自然主義的写実主義」という作風を確立

福田 平八郎

(日本画家:1892~1974)

鮮やかな色彩と大胆な画面構成による独自の装飾的表現を確立

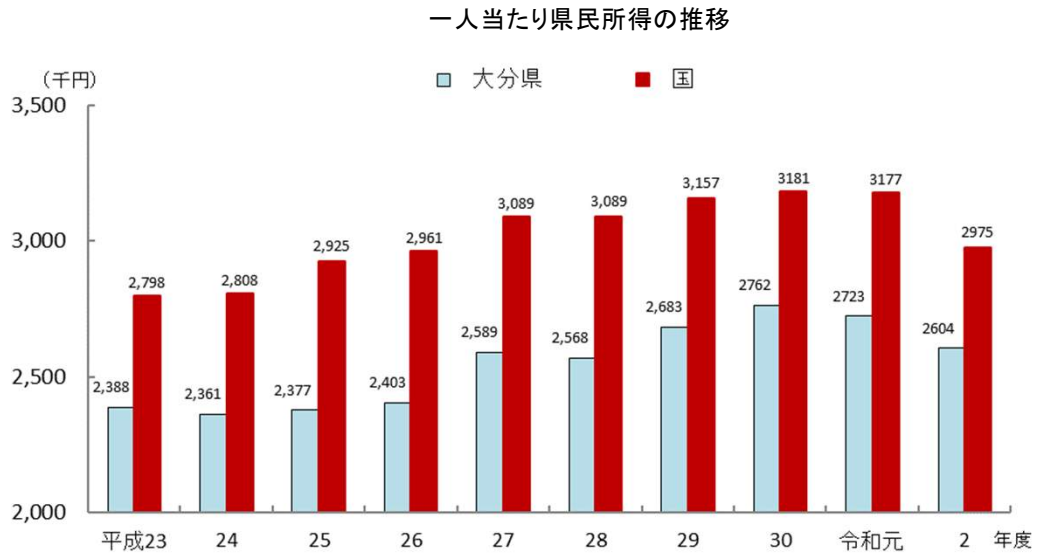
高山 辰雄

(日本画家:1912~2007)

日本画と洋画の壁を取り除く独自の創作を展開

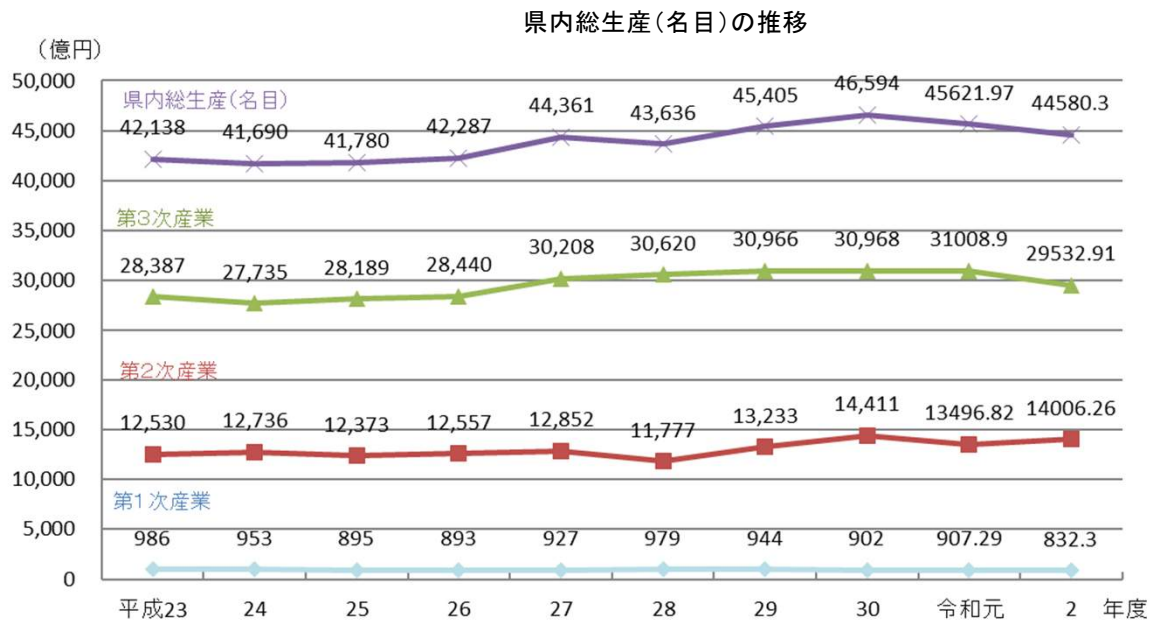
(1) 県民経済

令和2年度の一人当たり県民所得は2,604千円となっています。



資料: 県統計調査課

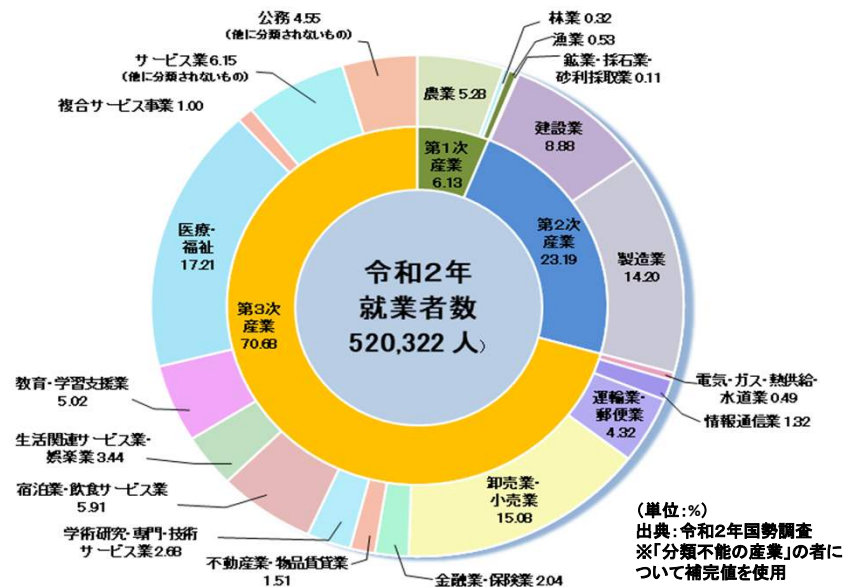
(2) 産業構造



資料: 県統計調査課

令和2年度の県内総生産(名目)は約4兆5千億円となっており、近年は横ばい傾向となっている。

また、生産額及び就業者数は、いずれも第3次産業が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業の順番となっています。



(3) 産業の状況

① 農林水産業

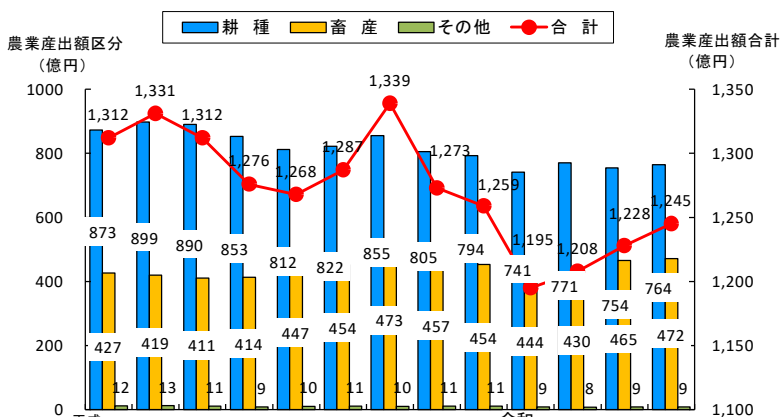
農業では、米のほか野菜(白ねぎ、トマト、いちご等)、果樹(なし、かぼす等)、花き(キク、スイートピー等)の園芸作物や肉用牛を中心とする畜産など、県内各地域の立地条件を活かして多様な展開がなされています。

林業では、日田市、佐伯市を中心とした、スギの木材生産や、豊後大野市や竹田市を中心とした乾しいたけ生産が盛んです。

水産業では、主に単価の高い中高級魚の養殖をはじめとした漁業が営まれています。

農業

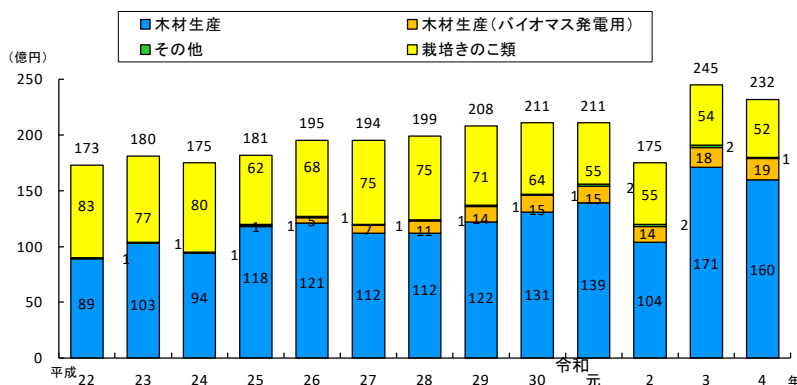
農業産出額の推移



資料:農林水産省

林業

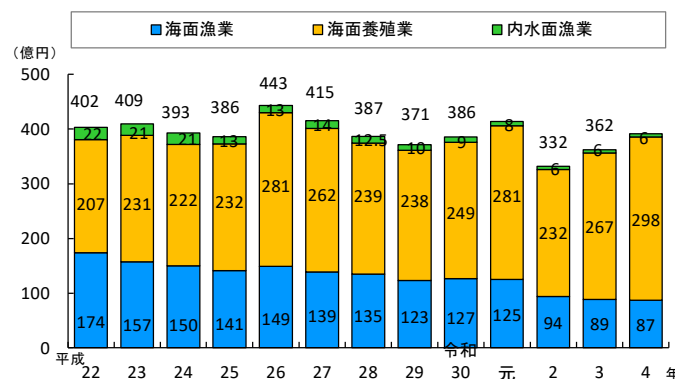
林業産出額の推移



資料:農林水産省

水産業

水産業産出額の推移



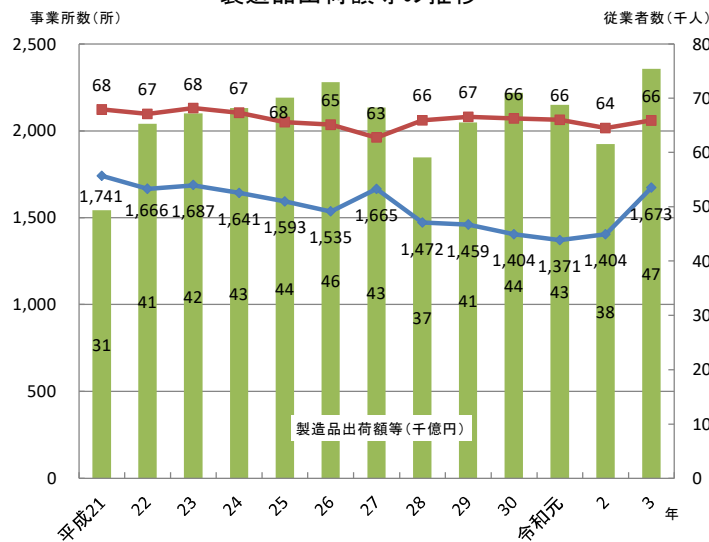
資料:農林水産省、県水産振興課

② 商工業

大分県には、鉄鋼、石油、化学、半導体、機械、自動車、医療機器など幅広い産業がバランスよく立地しており、製造品出荷額等(令和3年)は約4兆7千億円となっています。(九州2位)

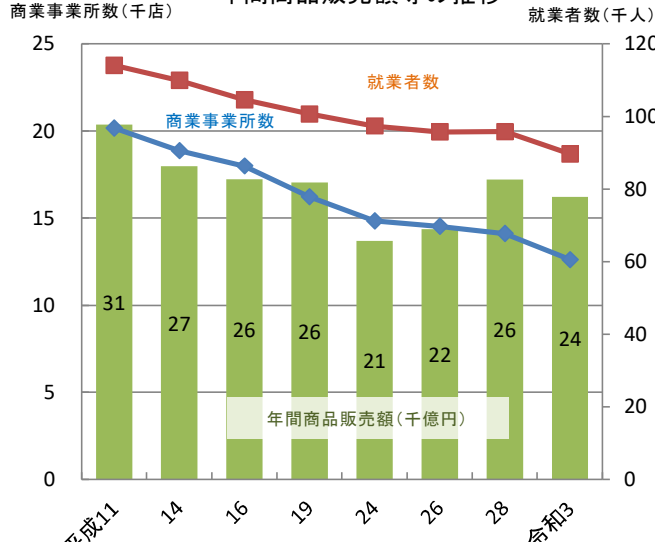
商業については、商業事業所数は減少が続いています。年間商品販売額(令和3年)は約2兆4千億円となっています。

製造品出荷額等の推移

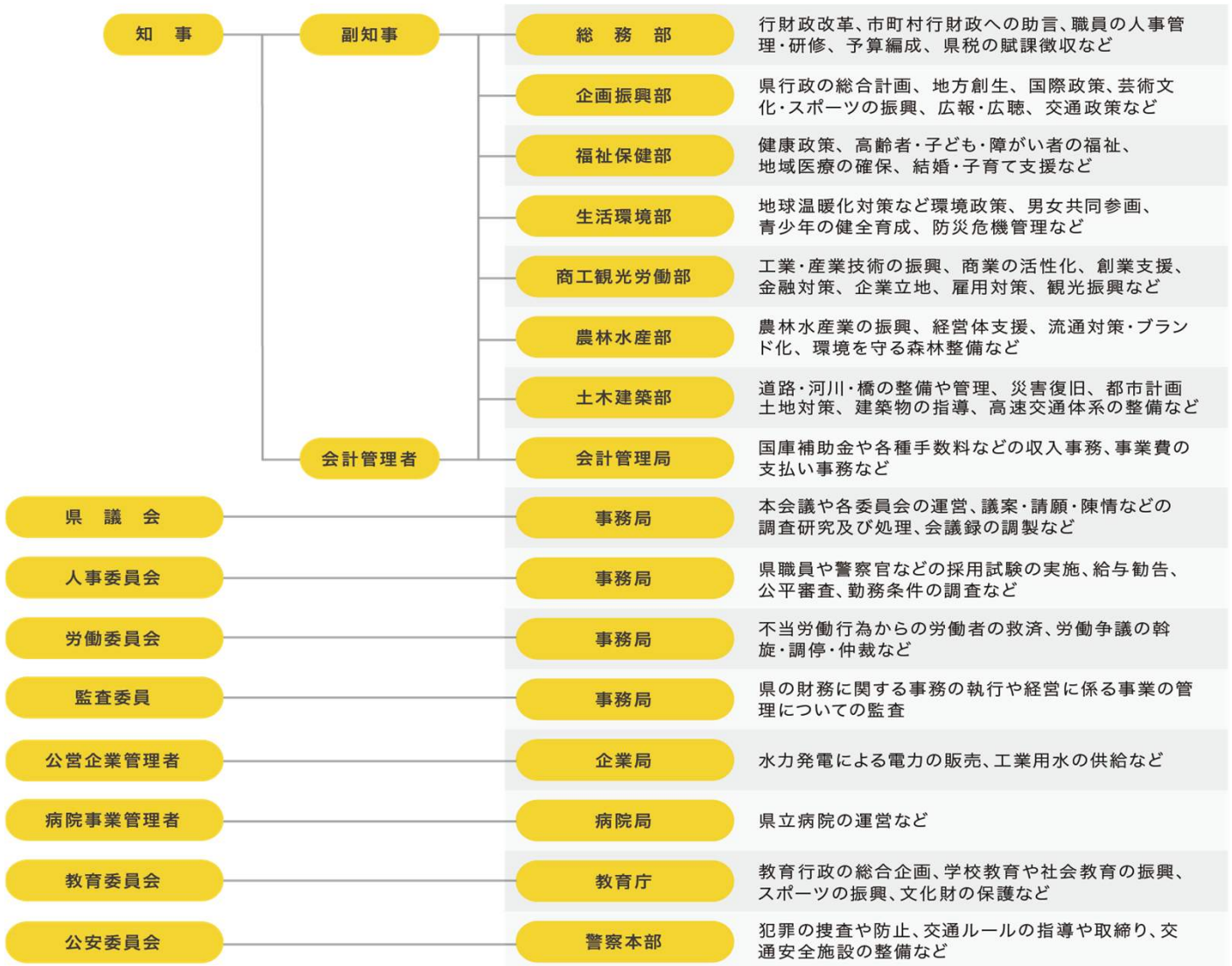


資料:経済産業省(経済構造実態調査他)

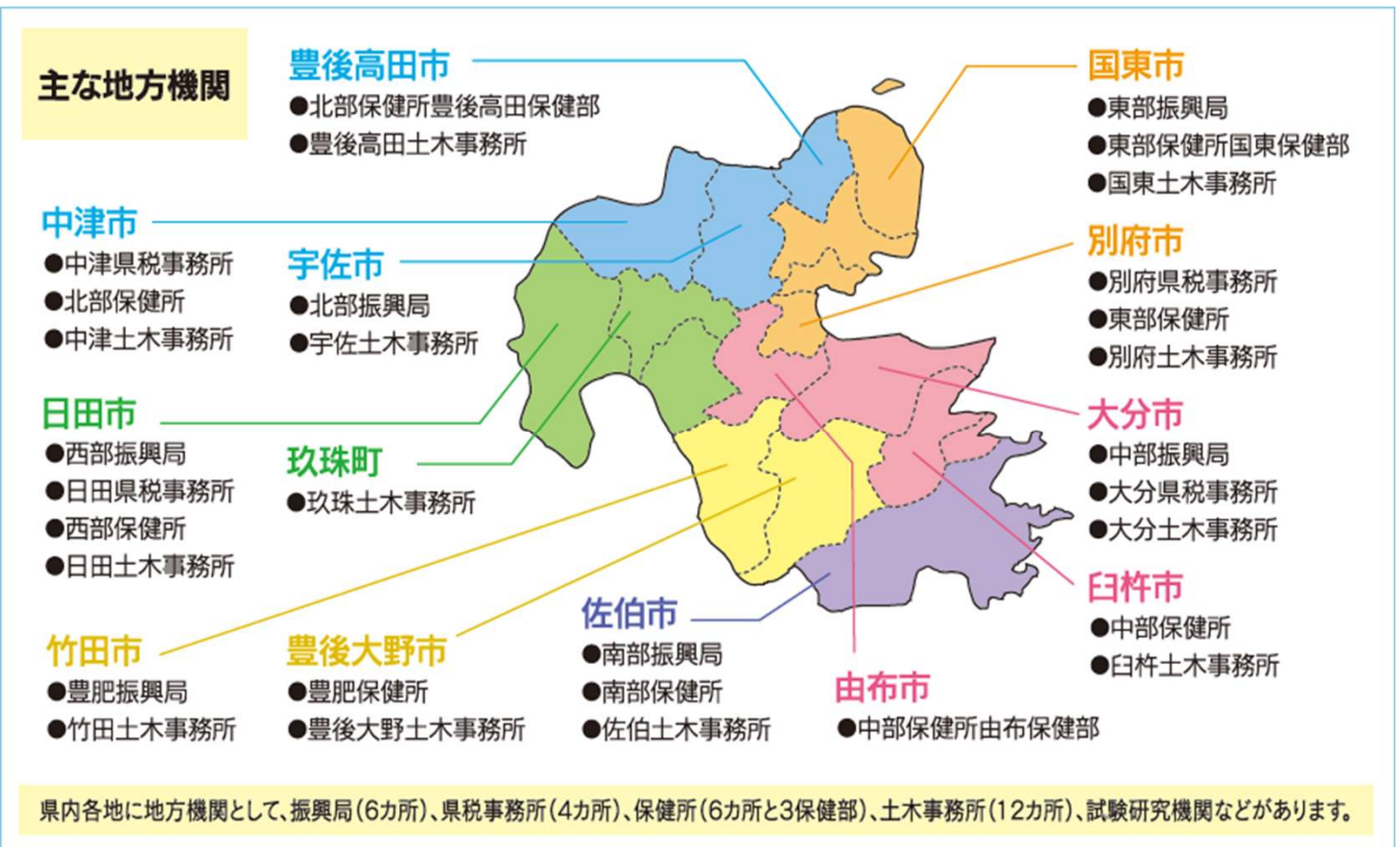
年間商品販売額等の推移



資料:経済産業省



※このほか、行政委員会として選挙管理委員会、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、収用委員会があります。組織改正等により変更となる場合があります。



大分県が目指す ～「共生社会おいた」と「画はれるおいた」の実現～ 10年後の姿

1 防災

自助の意識向上や共助の体制づくりが進み、「人的被害ゼロ」に向けた地域防災力が強化されています

5 農林水産業

ロボットやAI等を活用したスマート技術の導入などにより、多様な担い手が活躍する元気な農林水産業が実現しています

11 道路

広域道路ネットワーク形成に向けた取組が加速し、企業立地や産業集積、観光誘客、移住・定住の促進等を後押ししています

2 子ども・子育て

子どもたちが自己肯定感を持って健やかに成長し、地域社会全体で子育てを応援する体制が構築されています

6 ものづくり産業

企業誘致による産業集積が進捗する中で、多様で魅力的なものづくり企業が技術力を発展させながら、地域の雇用や経済振興に貢献しています

12 空港

大分空港へのアクセスが便利になり、航空路線も充実し、魅力的な交流拠点になっています

3 健康

健康寿命延伸につながる介護予防活動などが充実し、高齢者が住み慣れた地域で健やかに安心して暮らしています

7 観光

国内外の観光客が、温泉やバラエティ豊かな観光資源を堪能するため、本県を繰り返し訪れ、長期滞在しながら県内を周遊しています

13 移住・定住

若者や子育て世帯などが暮らしやすさや住みやすさを実現しながら、地域に定住し、移住者とともに地域の担い手として活躍しています

4 地域共生

子どもから高齢者まで多様な地域住民が参加する多世代交流活動が各地域で行われるなど、誰もが共につながり支え合う地域共生社会が実現しています

8 人づくり

本県が、県内外から魅力ある就業先として選ばれ、年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、多様な人材があらゆる産業で活躍・定着し、県内産業の持続的発展を支えています

14 環境・GX

水素サプライチェーンの構築、地熱等を活用した再生可能エネルギーの導入促進、GXの創設など、大分県版カーボンニュートラルが進展し、環境先進県のイメージが定着しています

15 DX・先端技術

医療・福祉、交通、防災、教育などあらゆる分野でDX・先端技術が進展し、県民が豊かで便利な暮らしを実現しています

16 教育

遠隔配信の活用等により、県内のどの地域に住んでいても多様な質の高い教育を受けられる環境が整い、すべての子どもの学びが保障されています

県民の皆さまとともに、**安心・元気・未来創造**の大分県づくりを力強く進め、明日の大分県を夢と希望あふれる新たなステージへと発展させていきます。

計画の性格・役割

県行政の長期的、総合的な指針を示した最上位計画です。
県民と行政が目指すべき目標を共有し、力を合わせて取り組む内容を示したものです。

計画の期間

令和6年度（2024年度）から令和15年度（2033年度）までの10年間とします。
ただし、中間年にあたる令和10年度（2028年度）に見直しを行います。

計画実行にあたっての基本姿勢

- 基本姿勢
- 対
話

県民一人ひとりの声が政策の原点
 - 連
携

多様な主体との連携が県政推進の原動力
 - 継承・発展

従来からの取組を加速させながら、新しい大分県づくりに的確かつ果敢に取り組む

計画の構成

基本目標

- 誰もが**安心**して**元気**に活躍できる大分県
- 知恵と努力が報われ**未来**を**創造**できる大分県

安心

県民が安全で安心して暮らせる大分県づくり

- 1 災害に強い県土づくりと危機管理の強化
- 2 持続可能な環境づくりの推進
- 3 すべてのこどもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくり
～子育て満足度日本一の実現～
- 4 健康長寿社会の構築と安心できる医療・介護の提供
～健康寿命日本一の実現～
- 5 障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり
～障がい者活躍日本一の実現～
- 6 多様性を認め、互いに支え合う社会の構築
- 7 誰もが安全・安心に暮らせる社会づくりの推進

7 政策

24 施策

49 指標

元気

県民が元気に活躍できる大分県づくり

- 1 自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業
- 2 力強く元気な経済を創出する産業の振興
- 3 地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興
～世界に選ばれるおんせん県おおいた～
- 4 海外の成長を取り込み共に発展する大分県の実現
- 5 誰もが自分らしく、いきいきと活躍できる社会づくり
- 6 芸術文化による創造県おおいたの発展
- 7 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進

7 政策

16 施策

42 指標

未来創造

新たな魅力を生み出し、未来を創造する大分県づくり

- 1 未来へつながる交通ネットワークの充実と企業立地・産業集積の促進
- 2 地域の未来を担う人材の確保と魅力ある地域社会の形成
- 3 大分県版カーボンニュートラルの推進
- 4 デジタル社会の実現と先端技術への挑戦
- 5 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造

5 政策

17 施策

42 指標

長期総合計画 の達成により



年齢や性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合い、誰もがいきいきと活躍している「**共生社会おおいた**」が実現



魅力・ブランド力が高まり、移住・定住や観光、企業進出、投資など、あらゆる分野で県内外から「**選ばれるおおいた**」が実現

安心

構成

県民が安全で安心して暮らせる大分県づくり



政策1

災害に強い県土づくりと危機管理の強化

施策

1. 強靱な県土づくりの推進
2. 大規模災害等に備えた防災対策の高度化
3. 「人的被害ゼロ」に向けた地域防災力の強化
4. 感染症流行への備え



安岐ダムの再生(国東市)



自主防災組織による避難訓練

キーワード

- 県土強靱化
- 先端技術による高度化
- 自助・共助
- 早期避難
- 感染症対策

10年後の目指す姿

- 県民の安心の大前提となる災害に強い県土づくりが着実に進んでいます。
- AIや衛星データ、ドローン、空飛ぶクルマ^{*1}などの先端技術を活用した防災対策の高度化が進んでいます。
- 「自助」の意識向上や「共助」の体制づくりが進み、早期避難行動が地域に定着しています。
- これらの取組が総合的に進み、自然災害から県民の命が守られています。
- 新興・再興感染症からも県民の生命・健康を守ることができています。

※能登半島地震を踏まえ、避難所の物資備蓄・空調整備や優先啓開ルート上の橋梁耐震化、孤立集落対策等も強化します。

主な目標指標



政策2

持続可能な環境づくりの推進

施策

1. 地球温暖化の緩和と気候変動への適応
2. 環境への負荷を抑えた循環型社会の構築
3. 豊かな自然の保全と活用
4. 環境を守り活かす担い手づくりの推進



環境保全団体の清掃活動(田ノ浦ヒーチ)



鳴子川溪谷(九重町)「おおいたの重要な自然共生地域」

キーワード

- グリーンアップおおいた
- 温室効果ガス排出削減
- 吸収源対策
- 循環型社会
- 自然・温泉の保全、活用

10年後の目指す姿

- 県民運動「グリーンアップおおいた^{*2}」や「おおいたグリーン事業者認証制度^{*3}」など、県民総参加の取組により、温室効果ガス排出量が減少し、吸収源^{*4}対策が拡大しています。
- プラスチックごみなどの廃棄物の排出抑制と循環的利用が進み、環境への負荷を抑えた循環型社会が構築されています。
- 豊かな自然や生物多様性が保全され、温泉の持続可能な利用やユネスコエコパーク等を活かした地域づくりが進んでいます。

主な目標指標



※1 電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段
 ※2 本県の環境を「守る」のみならず「活かして選ばれる」視点を加え、経済の発展も促す取組「環境先進県おおいた」を目指す県民運動
 ※3 CO₂削減やプラスチック削減に取り組む事業者を県が認証し、認証事業者の取組を支援する制度
 ※4 CO₂等の温室効果ガスを吸収する森林や海洋等のこと。
 ※5 身近な自然で生物多様性が保たれている又は希少野生動物植物が生息・生育している地域のうち、自然公園法等による法的規制がない又は弱い地域を中心に大分県が選定する地域

安心

元気

未来創造

政策 3

すべてのこどもが
健やかに生まれ育つ
温かい社会づくり

～子育て満足度日本一の実現～

施策

1. 子育てしやすい社会づくりの推進
2. 結婚・妊娠の希望が叶い、すべてのこどもが健やかに生まれ育つ環境の整備
3. こどもまんなかまちづくりの推進
4. 児童虐待の未然防止・早期対応と社会的養育の推進
5. 様々な困難を抱えるこどもたちへの支援



ホームスタート
(家庭訪問型子育て支援)



県管住宅の子育て世帯向け
住戸整備のイメージ



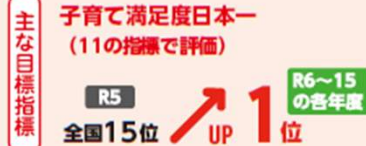
こども食堂

10年後の目指す姿

- 子育て世帯がこどもの育ちや子育ての喜びを実感し、こどもたちは自己肯定感を持って、健やかに成長しています。
- 若者が、結婚・妊娠・出産、子育てをポジティブに捉え、こどもを生き育てていく希望を持っています。
- 地域社会全体で子育てを応援する環境が整い、ヤングケアラー^{※6}など困難を抱えていたこどもやひとり親家庭の親子が安心して生活しています。
- 児童虐待の未然防止・早期対応が進み、家庭を離れて暮らさざるを得ないこどもが、里親などの家庭的な環境で養育され、家庭復帰や自立に向けた支援を受けています。
- すべてのこども、すべての子育て世帯に温かい社会づくりが進み、「子育て満足度日本一」が実現しています。

キーワード

- 子育ての喜び・共育
- 自己肯定感
- 地域社会で子育て応援
- こどもまんなかまちづくり
- 居場所づくり



政策 4

健康長寿社会の構築と
安心できる医療・介護の提供

～健康寿命日本一の実現～

施策

1. みんなで進める生涯を通じた健康づくり
2. 安心で質の高い医療の確保
3. 高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアの充実



介護予防サービス
(短期集中予防サービス)



見守りシステム

訪問不要

特別養護老人ホームにおける
離床センサーを活用した見守り

キーワード

- 地域包括ケア
- 通いの場
- 介護予防
- 在宅医療
- 生涯を通じた健康づくり

10年後の目指す姿

- 医療、介護、介護予防などが包括的に提供される地域包括ケアシステム^{※7}が充実し、通いの場（高齢者サロン）で多様な活動も展開される中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしています。
- 誰もが無理なく、自然に、楽しく、健康的な生活習慣を身につけることにより、生涯を通じ、心身ともに健康で活力あふれる人生を送る「健康寿命日本一」が実現しています。



※6 本来は大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っているこども
 ※7 高齢者の誰もが、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、個々の高齢者の状況等に応じて、医療や介護、介護予防等のサービスを包括的に提供する体制

政策 5

障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり

～障がい者活躍日本一の実現～



障がい者の一般就労



アート創作活動
(社会福祉法人朝葱の郷)

10年後の
目指す姿

●障がい者が、支援を受けるだけでなく、地域での活動や芸術文化、スポーツなど、様々な社会活動に自らの意志・希望で参画し、多様な就業機会の中から自分に合う働く場を自ら選ぶことで、心豊かな地域生活を送る「障がい者活躍日本一」が実現しています。

施策

1. 障がい者の希望や特性に沿った就労・自立支援
2. 障がい者が安心して暮らせる地域生活の支援

キーワード

- 活躍 ■ 自らの意志・希望、決定
- 多様な就業 ■ 地域活動、地域生活
- 芸術文化・スポーツ活動

主な目標指標

障がい者活躍日本一
(9の指標で評価)



政策 6

多様性を認め、互いに支え合う社会の構築



「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発



子どもから高齢者まで多様な住民が参加する多世代交流

10年後の
目指す姿

- 多様な価値観や生き方を認め合い、すべての人の人権が尊重される社会が実現しています。
- 多世代交流活動や様々な困りごとにワンストップで対応する包括的支援体制が充実し、人と人とのつながりを実感できる社会が実現しています。
- NPOと多様な主体との連携・協働が進み、地域課題の解決につながっています。

施策

1. すべての人の人権が尊重される社会づくり
2. 誰もが共につながり支え合う地域共生社会の実現
3. NPOとの協働の推進と支援

キーワード

- 多様な価値観
- 認め合う、尊重し合う
- 地域共生社会 ■ 多世代交流
- NPOとの協働

主な目標指標

体験的参加型人権学習を受講した児童生徒



包括的な支援体制を整備した市町村



政策 7

誰もが安全・安心に暮らせる社会づくりの推進



自主防犯パトロール隊によるこどもの見守り



バランスの良い食事の学習(津久見高校)

10年後の
目指す姿

- 犯罪が減少し良好な治安が保たれ、県民が消費者被害・トラブルを回避し、安心して安全な商品やサービスを購入・消費しています。
- ペットの適正飼育が進み、人と動物が愛情豊かに暮らしています。
- 「食」を大切にする意識が広く県民に醸成される中で、地域の魅力ある食文化が保護・継承され、地域づくりに活用されています。

施策

1. 良好な治安と安全で快適な交通の確保
2. 消費者の安心や生活衛生の向上と動物愛護の推進
3. 食の安全・安心の確保と未来へつなぐ食育の推進

キーワード

- 良好な治安
- 消費者の安心
- 動物愛護
- 食の安全・安心、食育

主な目標指標

刑法犯認知件数(年間)



月1回以上食育に取り組む小・中学校



安心

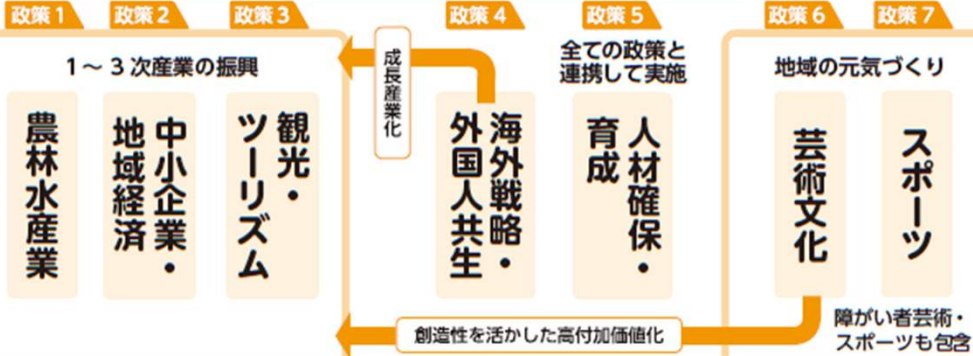
元気

未来創造

元気

構成

県民が元気に活躍できる大分県づくり



政策 1

自ら考え・動き・みんなで実現する元気に農林水産業

- 施策**
1. 園芸・畜産の生産拡大を中心とした農業の成長産業化
 2. 循環型林業の確立による林業・木材産業の持続的な発展
 3. 環境変化に対応し豊かな海を次世代につなげる水産業への転換



園芸団地のイメージ



木材大径材加工施設



端嵜期出荷に対応したブリの人工工塘

- 10年後の目指す姿**
- 農業では、園芸品目の産地拡大や畜産の規模拡大などが進み、中山間地域では、集落営農法人^{※8}等が地域農業を支えています。
 - 林業では、「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業が確立し、大径材の活用と早生樹^{※9}による再造林が進んでいます。
 - 水産業では、マーケットや環境に対応した養殖業や適正な資源管理による安定した漁船漁業が行われています。

キーワード

- 農業の成長産業化
- 循環型林業
- 環境変化に対応した水産業



政策 2

力強く元気な経済を創出する産業の振興

- 施策**
1. 中小企業の経営基盤の強化とイノベーションの促進
 2. ものづくり産業の「稼ぐ力」の向上
 3. 地域を支える商業の活性化とサービス産業の革新



起業家や経営者のコミュニティイベント



商工団体向けの経営指導に関するセミナー

キーワード

- 稼ぐ力の向上
- スタートアップ支援
- ものづくり産業の振興
- 商業・サービス業の振興
- 県産品の販路拡大

- 10年後の目指す姿**
- 中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力」が高まり、スタートアップ^{※10}や第二創業^{※11}が持続的に生まれ、着実に成長しています。
 - 半導体や自動車、コンビナート関連産業などのものづくり企業が付加価値を高め、地域雇用や経済振興に貢献しています。
 - 地域を支える商業が活性化するとともに、農林水産物や加工品などの県産品が国内外で新たな販路を開拓・拡大しています。



※8 農地利用や農業生産過程について、集落等において共同化・統一化に関する合意のもとに実施する組織で、法人格を有するもの。
 ※9 一般的には、スギやヒノキに比べて成長が早いコウヨウゼンなどの樹種を指す。なお、大分県では成長が早いスギのエリートツリー等も含めて早生樹と称している。
 ※10 革新的なアイデアやビジネスモデルの構築により、起業から短期間で急成長を遂げる企業
 ※11 企業がこれまでとは異なる分野に乗り出したり、新たな事業をスタートさせたりして、経営刷新を図ること。

安心

元気

未来創造

政策 3

地域の特色を活かした
ツーリズムの推進と
観光産業の振興 ～世界に選ばれるおんせん県おおいた～

施策

1. 地域に元気をもたらす国内誘客・海外誘客（インパウンド）の推進
2. 住んでよし、訪れてよしの持続可能な観光地域づくり



別府のゆけむり



長湯温泉の高温度炭酸泉



藍染め体験



台湾からの訪日教育旅行



アドベンチャーツーリズム
(国東半島筆道ロングトレイル)



サイクルツーリズム
(番匠川サイクリング)

10年後の目指す姿

- 国内外からの観光客が、温泉を楽しむとともに、地域の特色を活かしたバラエティに富む観光資源を堪能するため、本県を繰り返し訪れ、長期滞在しながら周遊しています。
- 国内外から選ばれる観光地として発展を遂げる中であっても、地域の自然・文化や環境の保全と観光振興が両立し、地域住民と観光客双方にとって満足度の高い持続可能な観光地域づくりが県内各地で進んでいます。

キーワード

- おんせん県おおいた
- 滞在型観光
- 県内周遊
- 持続可能な観光地域づくり

主な目標指標



政策 4

海外の成長を取り込み
共に発展する大分県の実現

施策

1. 企業の海外展開と県産品の輸出の促進
2. 外国人に選ばれ、共生できる大分県づくり



展示商談会(上海市)



農産品PR(ホスト市)



ASEAN諸国との交流

10年後の目指す姿

- 県内企業が海外展開に果敢に挑戦し、アジアのみならず欧米等にもそのウイングを広げ、県産品の輸出拡大等を通じ、海外の成長を取り込んでいます。
- 本県が、安心して暮らし働ける魅力的な地域として外国人から選ばれ、国籍や民族が異なる人々が、対等な関係を築きながら共生する多文化共生社会が実現しています。

キーワード

- 海外展開
- 県産品の輸出促進
- 多文化共生社会

主な目標指標



安心

元気

未来創造

政策 5

誰もが自分らしく、いきいきと活躍できる社会づくり

施策

1. 多様な人材が活躍できる環境づくりと産業を支える人づくり
2. 女性が輝き活躍できる社会づくりの推進



若年者の県内就職支援 dot(福岡市)



県内の建設現場で活躍する女性

10年後の目指す姿

- 本県が、県内外から魅力ある就業先として選ばれ、多様な人材があらゆる産業で活躍・定着し、県内産業の持続的発展を支えています。
- 「共家事」や「共育て」が定着する中で、働く場をはじめ、防災や地域づくりなど様々な分野で女性が活躍し、女性の視点が活かされています。

キーワード

- 産業を支える人づくり ■ 若年者の県内就職 ■ 女性活躍

主な目標指標

15~69歳の就業者数 **464,900人** ^{R15}

〔国の労働力需給推計の「成長実現シナリオ」より設定〕

男性の育児休業取得率 **27.9%** ^{R5} **UP 85%** ^{R15}

女性の管理職割合 **13.4%** ^{R5} **UP 30%** ^{R15}

政策 6

芸術文化による創造県おおいたの発展

施策

1. 芸術文化を享受できる機会の充実
2. 芸術文化の創造性を活かした地域づくり



文化キャラバンによる小学校への巡回公演



富貴寺大堂(現存する九州最古の木造建築物)

10年後の目指す姿

- 県民誰もが、多彩で質の高い芸術文化に触れ・親しみ・自ら創作し、子どもたちは豊かな感性や創造力を育んでいます。
- 芸術文化の持つ可能性があらゆる分野と融合し、観光誘客や産業の高付加価値化につながっています。
- 地域の人々が、愛着を持って文化財や伝統文化を保存・継承し、まちづくりや地域活性化に活かしています。

キーワード

- 県民誰もが親しむ
- こどもたちの感性・創造力
- 他分野との融合、高付加価値化
- 継承・地域づくり

主な目標指標

県立美術館入場者数(年間) **51.5万人** ^{R5} **UP 55万人** ^{R15}

文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画認定数

3市 ^{R5} **UP 18市町村** ^{R15}

政策 7

「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進

施策

1. ライフステージに応じた県民スポーツの推進
2. スポーツによる地域の元気づくりの加速



ジュニアアスリートの発掘(アーチェリー)



ツールド九州2023大分開催



ハンガリー!アメリカ女子水球代表の県内合宿

10年後の目指す姿

- 県民誰もがスポーツに親しみ、健康で活力あふれる生活を送っています。
- 本県出身選手が全国大会やオリンピック、パラリンピックなどの国際大会で活躍しています。
- 本県が、国際的なスポーツ大会や事前キャンプの開催地、プロスポーツチームの合宿地選ばれ、選手と県民が活発に交流しています。

キーワード

- 県民誰もが親しむ
- 世界に羽ばたく選手の育成
- 国際大会・合宿誘致
- プロスポーツチームと県民の交流

主な目標指標

国際大会出場者数(年間) **71人** ^{R5} **UP 72人** ^{R6~15の各年度}

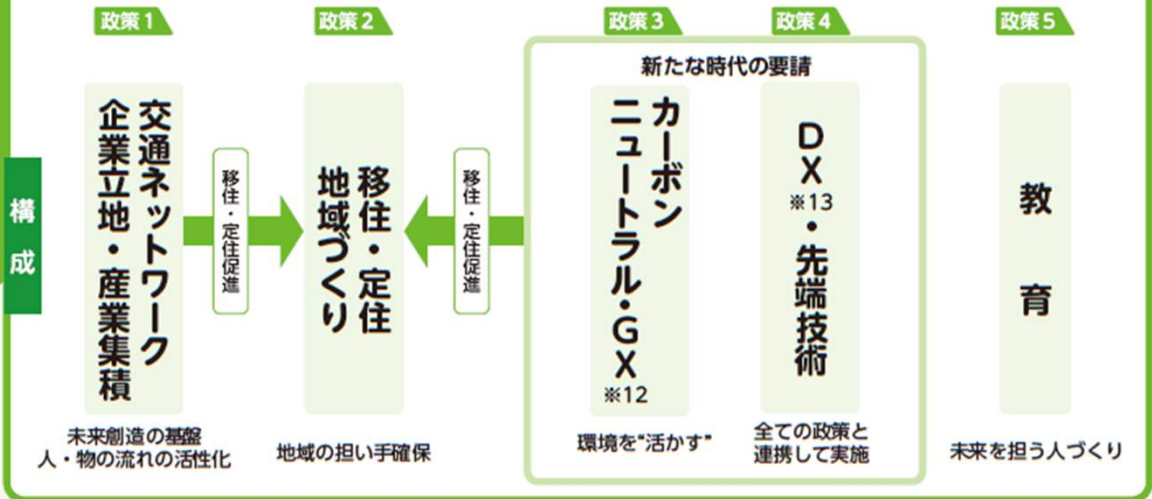
プロスポーツチーム等の合宿誘致件数(年間)

24件 ^{R5} **UP 42件** ^{R15}

安心
元気
未来創造

未来創造

新たな魅力を生み出し、未来を創造する大分県づくり



政策1

未来へつながる交通ネットワークの充実と企業立地・産業集積の促進

施策

1. 人や物の流れを活性化させる
広域交通ネットワークの充実
2. 九州の東の玄関口としての空港・港湾機能の強化
3. 地域を支える交通ネットワークの充実
4. 戦略的・効果的な企業立地と産業集積の推進

大分県の広域道路ネットワーク(R6.3時点)



キーワード

- 広域交通ネットワーク
 - ・高規格道路
 - ・東九州新幹線
 - ・豊予海峡ルート構想
- 九州の東の玄関口
 - ・空港・港湾機能の強化
- 地域公共交通の充実
- 企業立地・産業集積



※12 グリーン転換(Green Transformation)の略。温室効果ガスの排出削減と経済成長をともに実現すべく、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やそれに向けた活動
 ※13 デジタル転換(Digital Transformation)の略。ユーザー目線でビジョンを描き、ビジョンの実現に向けてデータとデジタル技術を活用して、これまでのビジネス等を変革すること。

安心

元気

未来創造

10年後の目指す姿

- 東九州自動車道の4車線化や中九州横断道路、中津日田道路等の高規格道路の整備が加速する中で、企業立地や産業集積、さらには観光誘客、移住・定住も呼び込む好循環が生まれています。
- 豊予海峡を通じて連結する東九州新幹線と四国新幹線が整備計画路線となり、県民の期待が高まっています。
- 陸上高速交通体系と空港・港湾などの主要拠点が結節するネットワークが着々と形成される中で、本県のプレゼンスが一層高まり、九州の東の玄関口として、多くの人や物が県内の陸路・空路・海路を介して、九州内外を行き来しています。
- バスやタクシー等の乗務員が確保され、自動運転や次世代空モビリティ^{※15}等、新たな移動手段も導入される中で、地域交通が県民の暮らしや産業を支えています。

主な目標指標



政策 2

地域の未来を担う人材の確保と魅力ある地域社会の形成

施策

1. 「地域が輝く」移住・定住の促進
2. 持続可能なコミュニティづくりによる地域の未来への継承



移住相談会(dot.福岡市)



高齢化集落応援隊の草刈活動

キーワード

- 移住・定住
- ネットワーク・コミュニティ
- 持続可能な地域づくり
- 地域の担い手確保

10年後の目指す姿

- 温泉や自然などの豊かな資源、子育てしやすい環境、環境先進県としての取組、多様な企業の立地などの本県の魅力が、新たな人材を呼び込む好循環を生み出しています。
- 若者や子育て世帯が、暮らしやすさや住みやすさを実感しながら、地域への定住を選択し、移住者とともに地域の担い手として活躍することで、持続可能で輝く地域社会が形成・継承されています。

主な目標指標



政策 3

大分県版カーボンニュートラルの推進

施策

1. 温室効果ガスの排出抑制と吸収源対策の強化
2. 経済と環境の好循環を生み出すGXの推進

大分コンビナート



キーワード

- GX
- 経済と環境の好循環
- ビジネスチャンス
- 水素サプライチェーン
- 環境先進県おおいた

2050年に向けた目指す姿(グリーン・コンビナートおおいた推進構想:令和6年1月)



次世代エネルギーである水素などの供給・利活用、CO₂を利活用したカーボンリサイクル^{※16}など、大分コンビナートを中心に県内企業のGXの取組を推進していきます。

※14 大分県が計画期間中に開通を見込んでいる区間を計上(東九州自動車道の4車線化を含む)

※15 ドローンや空飛ぶクルマなど、空を拠点とした人・物の新しい移動手段

※16 CO₂を資源として捉え、分離・回収して様々な製品や燃料に再利用すること。

安心

元気

未来創造



グリーンコンビナート
おおいた推進会議



水素ステーションと
燃料電池自動車



地熱発電電力を活用した
水素製造実証事業

10年後の目指す姿

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、県民総参加による温室効果ガスの排出削減や森林資源等を活かした吸収源対策が進んでいます。
- 大分コンビナートをはじめとする県内事業者が、脱炭素化と持続的成長の両立に向けたGXに果敢に挑戦し、環境対策を新たなビジネスチャンスにつなげる企業が生まれています。
- 需要と供給がバランスよく拡大した地産地消型の大分県版水素サプライチェーンが構築されています。
- グリーンアップおおいたの取組が、企業への投資や観光誘客、移住・定住等を促進し、「大分」=「環境先進県」のイメージが定着しています。



政策 4

デジタル社会の実現と
先端技術への挑戦

施策

1. 生産性・付加価値を高め県経済を発展させる DX の推進
2. 県民の暮らしをより便利で豊かにする DX の推進
3. 先端技術を活用した新産業の育成と地域課題の解決



ICT建設機械による施工



発災直後の救援物資の
ドローン配送(全国初)



介護ロボットによる移乗支援



キャッシュレス対応した
行政窓口(臼田市役所)



空飛ぶクルマが活躍する姿



空飛ぶクルマの
機体開発等に向けた覚書締結

10年後の目指す姿

- あらゆる産業にDXが浸透・定着し、生産性向上や新たな価値・サービスの創出が図られる中で、県内事業者の競争力が高まっています。
- 防災、医療・福祉、交通、教育や行政分野のDXが進展し、県民誰もがデジタル化の恩恵を受け、豊かで便利な暮らしを実感しています。
- AIや次世代空モビリティなどの先端技術を導入・活用する県内事業者が数多く生まれ、新産業創出や新たな産業集積を呼び込んでいます。
- 実装された様々な先端技術が、人手不足の解消や移動手段の確保など、地域課題の解決にも貢献しています。

キーワード

- DX
- 産業の生産性向上
- 暮らしの質の向上
- 先端技術への挑戦

主な目標指標



安心

元気

未来創造

政策 5

変化の激しい社会を
生き抜く力と
意欲を育む
「教育県大分」の創造

施策

1. 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進
2. 社会の変化に対応する教育の展開
3. 安全・安心で質の高い教育環境の確保
4. 信頼と対話に基づく学校運営の実現
5. 大学等との連携による人材の育成・定着と地域の活性化
6. 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進



高校における遠隔授業



グローバルリーダー育成塾



生成AIの活用授業
(文部科学省指定校)



学校運営協議会
(日北町立豊岡小学校)



水産業の現場を学ぶ
フィールドワーク
(日本文理大学)

キーワード

- 学びの保障 (遠隔教育※17等)
- 確かな学力、豊かな心、健やかな体
- 社会の変化に対応できる力
- 学びの個別最適化
- 地域とともにある学校づくり
- 県内大学等の魅力向上

10年後の目指す姿

- 県内のどの地域に住んでいても、多様で質の高い教育を受けられる環境が整い、すべてのこどもの学びが保障されています。
- こどもたちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体、未来を切り拓く力を身に付け、夢や希望に向かって意欲的に挑戦しています。
- イノベーションを担う人材やグローバル人材が育ち、データやAIを活用した学びの個別最適化やいじめ・不登校対策の充実、私立学校による魅力ある教育が展開されています。
- こどもの学びと成長を地域全体で支える環境が整い、学校・地域の双方に活気があふれています。
- 県内大学等の魅力が高まり、多くの進学希望者から選ばれ、多くの卒業生が県内に就職・定着しています。

主な目標指標

児童生徒の学力
(全国平均正答率との比) (中学校)



県立高校専門学科の定員充足率



県内大学等卒業者の県内就職率



計画推進のために

1 県民の参画による計画の進行管理

県民の参画によるフォローアップ委員会を設け、計画の進行管理を行います。また、評価の結果等については、県庁ホームページ等を通じて公表します。

2 計画推進を支える行財政改革の実行等

令和6年度から新たな行財政改革に取り組み、安定的で持続可能な行財政基盤を確保していくことで、同時にスタートする本計画の実行を確かなものとしていきます。

3 持続可能な社会を目指して～SDGsの実現～

SDGsの理念は、「誰もが安心して元気に活躍できる大分県」、「知恵と努力が報われ未来を創造できる大分県」の実現を目指す本県の方針と軌を一にします。計画の推進により、持続可能な社会の実現を図ります。

※17 教員と児童生徒が場所を限定せずにオンライン上でやりとりできる学習の形態。大分県では、配信センターから地域の学校に習熟度別授業を行う「配信センター方式」と、専門科目等を実施する学校から地域の学校に多様な科目の授業を行う「学校間連携方式」がある。

安心

元気

未来創造

今後見込まれる社会の変化

○少子高齢化・人口減少に伴う構造的な課題

- 急速な少子高齢化・人口減少の進行による官民双方の担い手不足の深刻化
- 公共サービス等（公共性が高い民間の事業を含む）の生産性低下
- 社会資本・公共施設の急速な老朽化
- 高齢化率の上昇や子ども・子育て支援に伴う社会保障関係費の増加
- 社会保障関係費の伸びや防災・減災、国土強靱化の推進等による公債費の増嵩

○デジタルや先端技術の進展への対応

- 国によるデジタル行財政改革の推進
（デジタルの力を最大限に活用した公共サービス等の維持・強化、地域活性化、社会変化の実現）

計画策定の基本的な考え方

- ◆ 大分県新長期総合計画の県政運営を支える基盤を構築
- ◆ デジタルや先端技術の力を活用し、社会変革の実現に向けた取組を加速度的に推進
- ◆ これらの取組により公共サービス等の維持向上を目指す

計画期間

2024年度（令和6年度）を初年度とし、2028年度（令和10年度）までの5年間とする

主な取組

1. 県民目線に立ったデジタル社会の実現

- DXの加速化と先端技術の活用（デジタル行革による業務効率化、公共性の高い分野のDX推進）
- 行政におけるDX人材の確保・育成と環境整備

2. 連携・協働による公共サービス等の維持・向上

- 市町村連携等による広域課題の解決と効率化（水道・下水道事業の効率化と持続可能な経営推進）
- 多様な主体との連携・協働（企業、NPO、大学等との連携・協働の推進）

3. 社会資本・公共施設の老朽化への対応

- 長寿命化・予防保全の推進（予防保全型維持管理の推進）
- 市町村のインフラ維持管理業務の支援
- 県有建築物の有効活用・民間活力の活用（県民ニーズを踏まえた施設の用途廃止・集約化）

4. 社会保障関係費の増加への対応

- 医療費適正化と地域医療構想の更なる推進（データ活用による効率的・効果的な保健事業の推進）
- 介護予防・自立支援と高齢者の活躍推進（地域包括ケアの基盤強化と自立支援型サービスの推進）

5. 職員人材の確保・育成と働き方改革の推進、安定的な財政基盤の確保

- 職員人材の確保・育成（職員の定着を高める取組、中長期的視点に立った女性職員の育成・支援）
- 働き方改革の推進（効率的で質の高い働き方を実現するオフィス改革の推進）
- 事業の選択と集中等による安定的な財政基盤の確保（財政調整用基金残高の確保等）

新たなステージへの船出～「安心」「元気」「未来創造」の大分県づくり～

今年度は、知事就任後、初めての当初予算となり、様々な場でいただいた県民の皆さんの声を基に、誰もが安心して元気に活躍できる大分県、知恵と努力が報われ未来を創造できる大分県の実現に向けた施策をできる限り予算に盛り込みました。

少子高齢化や人口減少等の厳しい状況を乗り越え、明るい未来を切り開くため、県民との対話を通じて必要な政策を見定め、変化を恐れず次の三つを柱に県政に臨んでいきます。

一つ目は、誰もが安全で安心して暮らせる大分県づくりです。県民の安全を守るため、県土強靱化を進めるとともに、新たな感染症への医療提供体制等の整備に取り組みます。

また、子育てにかかる経済的負担の軽減に取り組むとともに、生涯を通じた健康づくりや需要が増す在宅医療の提供体制を強化します。

二つ目は、県民が元気に活躍できる大分県づくりです。農林水産業では、成長産業化に向け、大規模園芸団地の整備や畜産の低コスト化、早生樹による再造林、全国豊かな海づくり大会を契機とした水産振興に取り組みます。

また、物価高騰などで厳しい環境にある中小企業等に対し、制度資金融資等を通じて経営力強化を図るとともに、賃金と物価の好循環に向け、賃上げ枠等により賃金引上げを後押しします。

さらに、福岡・大分デスティネーションキャンペーンの成功に総力を挙げるとともに、海外プロモーションにも積極的に取り組みます。

人手不足も喫緊の課題です。若者の県内就職や、仕事と育児の両立、社会人の学び直し、外国人材の受入れ等の取組を強化します。

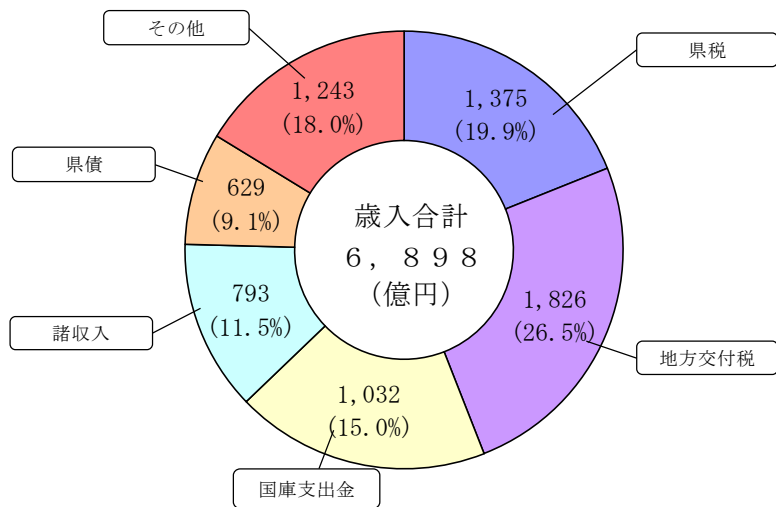
三つ目は、新たな魅力を生み出す未来創造の大分県づくりです。企業誘致を加速するため工業用地の確保や中九州横断道路等の整備を促進するほか、未来への投資として東九州新幹線や豊予海峡ルートの実現に取り組みます。

また、GXを推進するため、グリーンコンビナートおおいたの実現や水素の利用促進等に力を入れるとともに、今後高い成長が見込まれる次世代空モビリティや宇宙など新産業に挑戦する県内企業を支援します。

さらに、教育の分野では、未来を担う子どもたちがどの地域でも希望する教育を受けられるよう、遠隔授業の環境を整備するなど教育県大分の創造に一層注力します。

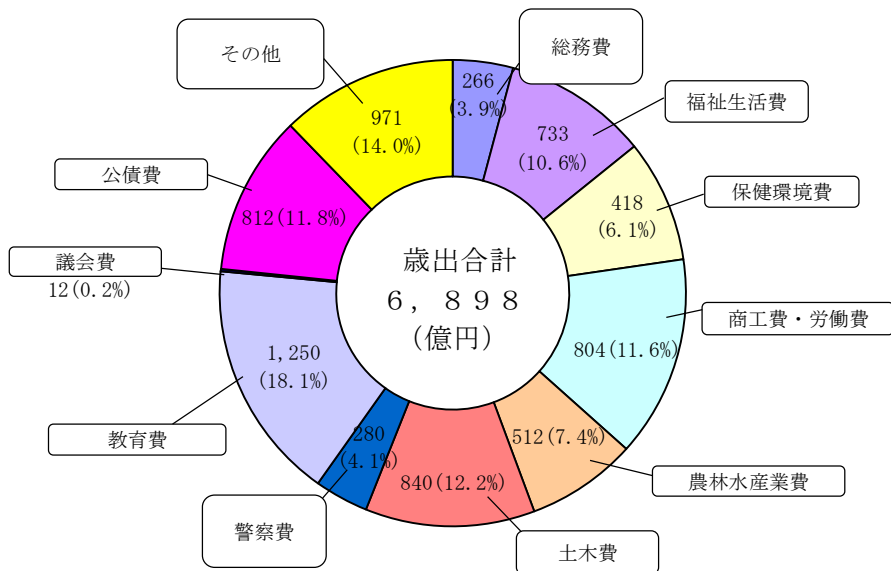
加えて、想定を上回るスピードで進む人口減少対策についても、地域公共交通の維持確保などにしっかり取り組んでいきます。

「安心」「元気」「未来創造」の大分県づくりを、県民の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



県税	県民税、自動車税、事業税などの税金
地方交付税	国から交付される用途を決められていない財源
国庫支出金	国から交付される用途の決められた財源
諸収入	貸付事業の償還金、宝くじ収入など
県債	道路や公共施設等を作るための借金
その他	特別会計や基金からの繰入金など

令和6年度一般会計予算 6,898億円 (前年度比 1.05%減)



総務費	政策や計画を立案したり、地域活性化のための事業等の経費
福祉生活費	子育て支援や高齢者、障がい者福祉のための経費
保健環境費	健康増進や食の安全・安心、環境保全のための経費
農工商費・労働費	企業の活動を促進したり、求職者の支援等をする経費
農林水産業費	農業、林業、水産業の振興を図るための経費
土木費	道路や橋、河川、下水道等を建設したり、修繕したりするための経費
警察費	犯罪や交通事故を防ぎ、県民の安全・安心を守るための経費
教育費	学校を建設したり、文化やスポーツを振興するための経費
議会費	県議会を運営する経費
公債費	県債を償還する経費
その他	災害復旧費など

(1)「安心」の大分県づくり

【災害に強い県土づくりと危機管理の強化】

- ・豪雨や台風などによる洪水被害を未然に防止し、国東市街地の安全性を向上させるため、安岐ダムの再整備を実施します。
- ・感染症発生の予防及びまん延防止の施策を講じるため、医療提供体制や検査体制を整備するとともに、人材の確保・育成に取り組みます。

【子育て満足度日本一の実現】

- ・子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもたちの健康保持と健全育成を図るため、子ども医療費助成の対象に高校生の年代を加えます。
- ・保護者の経済的負担を軽減するため、給食を実施する県立学校において、給食費を無償化します。
- ・医療的ケア児を養育する家族の負担軽減のため、一時預かり等を目的とした保険適用外の訪問看護利用費を助成するとともに、修学旅行等における付添い看護師を配置します。
- ・近年増加傾向にある児童虐待に適切に対応するため、一時保護所及び児童相談所の受入環境改善等の施設整備を行うとともに、関係機関との連携及び児童相談所の対応力等を強化します。
- ・ヤングケアラーなど支援を必要とする子どもや児童虐待のおそれのある家庭を早期に発見し、適切な支援につなげるため、実態調査を行うとともに、市町村と連携した見守り・相談体制を構築します。

【健康寿命日本一の実現】

- ・健康寿命の更なる延伸を図るため、県が設定した13の健康指標の改善に取り組む市町村を支援します。
- ・在宅医療の提供体制を強化するため、遠隔診療時に介助を行う看護師を派遣する訪問看護ステーション等を支援します。

【障がい者活躍日本一の実現】

- ・障がい者雇用を推進するため、企業の人事担当者を対象とした研修会や経営層向けの啓発を行います。
- ・誰もが必要な情報にアクセスできる環境を整備するため、視覚障がい者や聴覚障がい者を対象にICT体験会を開催します。

【多様性を認め、互いに支え合う社会の構築】

- ・パートナーシップ宣誓制度を導入し、性的少数者への社会全体の理解増進を図るとともに、当事者の安心感の醸成や困りごとの解消のため、相談窓口の対応時間を拡大します。
- ・地域共生社会を実現するため、高齢者や障がい者など住宅確保要配慮者の住まいと暮らしの確保に向けた市町村の取組を支援します。

【誰もが安全・安心に暮らせる社会づくりの推進】

- ・特殊詐欺等の被害を防止するため、県内の高校生や大学生等が作成する動画コンテスト等、若者を犯罪に担させない取組を実施します。

【持続可能な環境づくりの推進】

- ・プラスチックごみ対策を総合的に推進するため、全国豊かな海づくり大会関連イベントにおけるプラスチック代替容器導入を支援します。



安岐ダムの再整備



子ども食堂



点字図書館が実施したスマホ体験会



環境保全団体による清掃活動

(2)「元気」の大分県づくり

【農林水産業の成長産業化】

- ・本県の顔となる園芸品目を育成し、生産拡大を図るため、短期集中県域支援品目の「生産拡大計画」や、市町の「園芸産地づくり計画」に基づき認定農業者等が行う栽培施設の整備等を支援します。
- ・市町が行う未利用農地等を活用した園芸団地化プランの作成を後押しし、計画的に農地を集約します。
- ・畜産における自給飼料の生産基盤を確立するため、遊休農地等を利活用した放牧地整備を支援します。
- ・早生樹による再造林を推進し循環型林業を確立するため、苗木の増産に必要な施設整備等を支援します。
- ・水産資源の保護や海・河川の環境保全の大切さを広く発信するとともに漁業の振興と発展を図るため、第43回全国豊かな海づくり大会及び関連行事を開催します。
- ・担い手の確保・定着のため、就農準備資金等を受給しながら研修に取り組む子育て世帯に対し給付金を上乗せするとともに、産前産後における代替労働力の確保に対する支援を拡充します。

【商工業の振興と人材確保】

- ・県内中小企業の資金繰りを支援するため、県制度資金に、新商品開発やデジタル化等、県の各種支援策と一体となって取り組む事業者向けの資金を創設するなど、800億円の新規融資枠を設定します。
- ・生産性向上による持続的な賃上げを実現していくため、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた県内の中小企業・小規模事業者が行う設備投資等を支援します。
- ・多様な人材が意欲・能力を十分に発揮できる魅力ある職場環境づくりを推進するため、企業の働き方改革を後押しするとともに、男性育休取得の促進に取り組む中小企業を支援します。
- ・外国人材の受入れ・定着を推進するため、海外に向けて県内の情報を発信するとともに、就業環境等の整備に取り組む企業等を支援します。

【観光産業の振興】

- ・destinationキャンペーンの成功と県域での効果波及のため、カルチャーイベントの開催や民間事業者と連携したプロモーション等に取り組むとともに、継続的な観光需要喚起に向けた総合的な誘客対策を実施します。
- ・アドベンチャーツーリズムを推進するため、動画による情報発信を通してアウトドアガイドの確保、育成に取り組むとともに、自然や歴史・文化など地域資源を活かした体験型観光コンテンツの創出を支援します。
- ・インバウンド誘客の拡大を図るため、東アジア等への情報発信を強化し、リピート層の取込みを加速するとともに、新たに米国に戦略パートナーを配置します。
- ・これまで交流を重ねてきた台湾に加え、訪日客のさらなる増加が見込まれる米国に対し、県産品の輸出拡大等も含めた海外プロモーションを実施します。

【芸術文化の振興】

- ・芸術文化の創造性を活かした地域振興等を図るため、アルゲリッチ音楽祭等に合わせ「まちなかアートフェスタ」を開催します。

【スポーツの振興】

- ・トップアスリートの競技力向上を図るため、日本代表候補選手が国際大会に出場する経費の一部を助成します。



全国豊かな海づくり大会
イベントでの漁船団パレード



県内企業向け
外国人雇用リーフレット



国東半島峯道ロングトレイル



アルゲリッチ音楽祭

(C)脇屋伸光

(3)「未来創造」の大分県づくり

【交通ネットワークの構築】

- ・県民生活に欠かせない地域交通を下支えするため、乗務員の免許取得やEV車両の導入費用等を助成します。
- ・ホーバークラフトの利便性向上に向け、ホーバーターミナル大分（西大分）と大分駅を結ぶシャトルバスの運行を実証します。
- ・東九州新幹線や豊予海峡ルートの実現に向け、国への要望活動を行うとともに、地元機運を醸成するため、九州・四国の関係機関と連携したシンポジウムを開催します。

【企業立地・産業集積の促進】

- ・戦略的・効率的な企業誘致を推進するため、誘致企業の設備投資及び雇用創出に対し助成します。
- ・大規模な工業団地整備に向けた適地調査を行うほか、市町村が実施する用地測量等を支援します。

【移住の促進】

- ・IT分野及び医療・福祉分野への転職を考える移住希望者に対し、新たにWebマーケティングも対象に加え、技術習得から移住、就職、定住まで一貫して支援します。

【大分県版カーボンニュートラルの推進】

- ・大分コンビナートのカーボンニュートラルと持続的発展の両立を実現するため、民間企業による設備等の導入可能性調査や設備整備等を支援します。
- ・県内のエネルギー関連産業の成長を促進するため、水素の製造から運搬、利活用に係るモデル構築に取り組むとともに、燃料電池トラックや地熱利用の設備を導入する事業者を支援します。

【先端技術への挑戦とデジタル社会の実現】

- ・次世代空モビリティ産業の振興を図るため、参入に挑戦する県内企業を支援します。
- ・ロボット・AIなどを活用した新産業創出や地域課題の解決を図るため、産学連携した先進的プロジェクトに挑戦する県内企業を支援します。
- ・生産性向上に向けて、データに基づく経営を行う中小企業の創出を推進するため、データ経営の普及に向けた支援人材を育成します。

【教育県大分の創造】

- ・どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばし、多様で質の高い高校教育を提供するため、遠隔教育システムを整備します。
- ・不登校等の児童・生徒に対する学習機会充実のため、学習支援などを行う登校支援員を増員するほか、フリースクールに通う児童・生徒に対しICTを活用した学習支援システムを配備します。
- ・休日の部活動の地域移行に取り組む市町村を後押しするため、地域クラブ等との調整を担うコーディネーターの配置などを支援します。
- ・ものづくり産業を支える高度な人材を育成するため、県立工科短期大学の学生を対象とする給付型奨学金を創設します。



ホーバークラフト



中津市に誘致した半導体企業

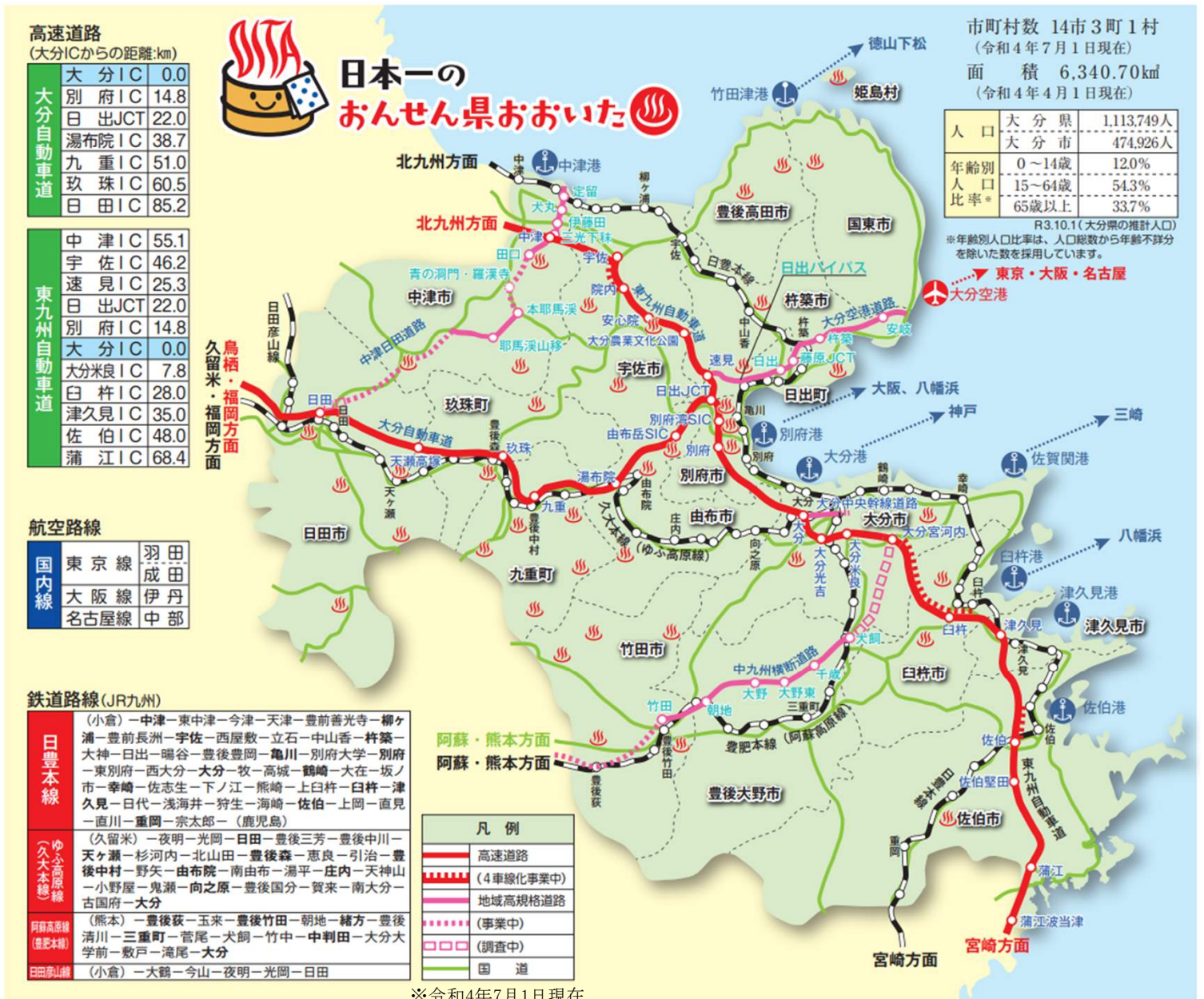


空飛ぶクルマの機体開発等に向けた覚書締結



遠隔授業の様子

8. 大分県管内図、県のシンボル



<県木 豊後梅>



【昭和41年8月16日制定】

豊後梅は、古くから豊後の名産として知られていました。花は大輪で淡紅色をおびています。

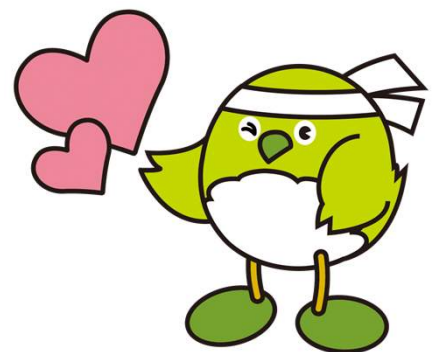
<県鳥 メジロ>



【昭和41年2月1日制定】

メジロは全国的に生息している鳥ですが、大分県のメジロは、色彩が美しく、よく鳴くことから、古くから豊後メジロとして全国的に有名で、県民に愛されています。

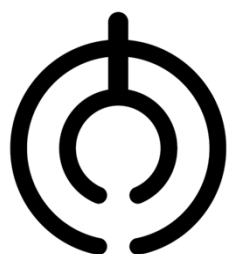
<大分県応援団”鳥”めじろん>



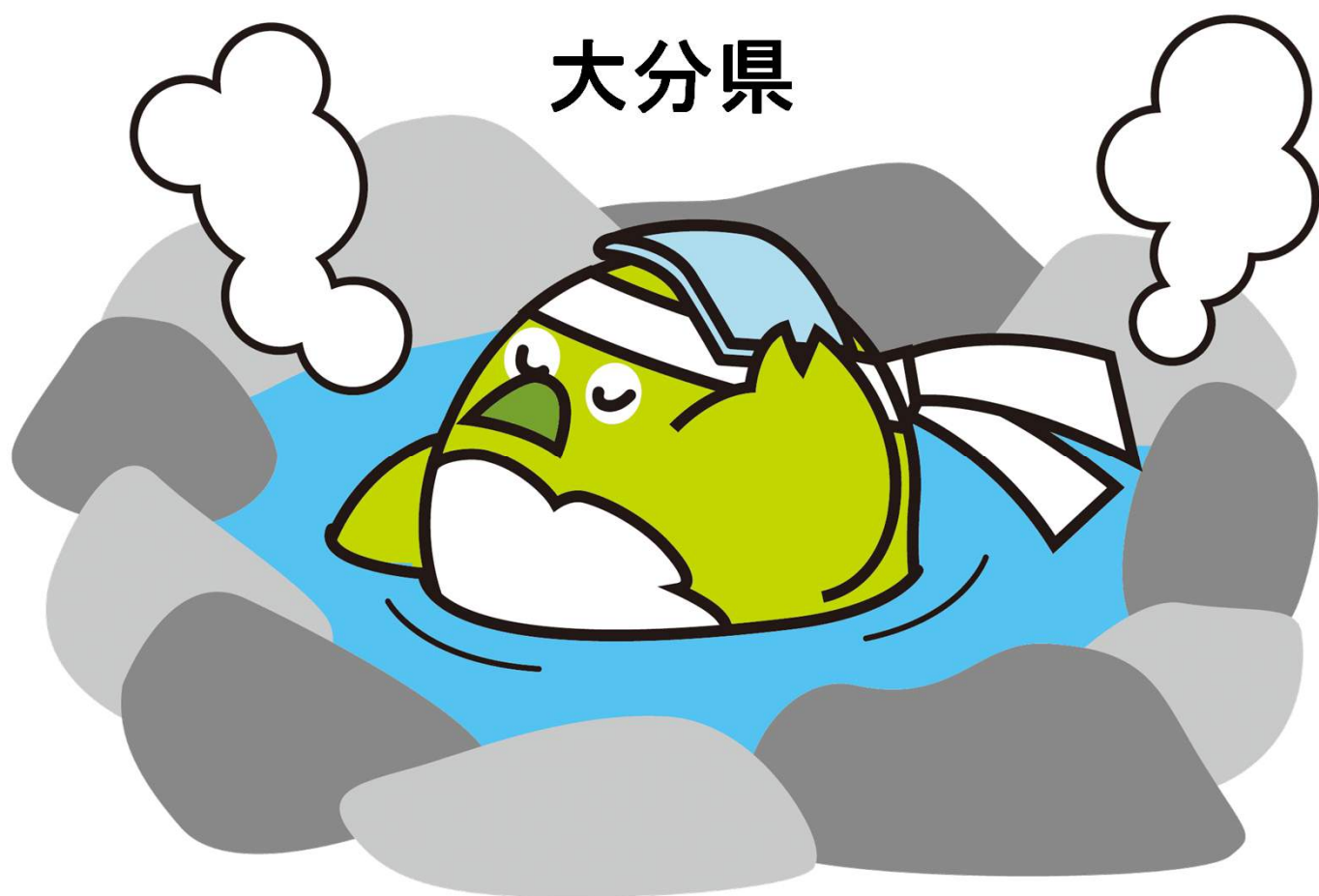
【平成16年12月24日誕生】

第63回国民体育大会のマスコットキャラクターとして生まれ、現在も大分県の応援団”鳥”として世界で活躍しています。

身長:乾しいたけ 20.08個分
体重:カボス 200.8個分



大分県



大分県企画振興部政策企画課

TEL:097-506-2031

FAX:097-506-1722

〒870-8501

大分県大分市大手町3-1-1

令和7年1月作成